

# FM/AM カセットカーステレオ

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# XR-C370



**警告**

# 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

## 道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこなうなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、  
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電



指挟み

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

# 目次

⚠ 警告・⚠ 注意 .....	4
カセットテープの取り扱い .....	6
はじめに .....	7
まず、本機をリセットする .....	8
テープ・ラジオの聞きかた .....	10
各部のなまえ .....	12
時計を合わせる .....	14

## カセットテープ

テープを聞く .....	15
--------------	----

## ラジオ

放送局を自動で登録する .....	16
放送局を手動で登録する .....	18

## CD・MD

CD/MDを聞く .....	19
繰り返し聞く （リピート再生）.....	24
曲順を変えて聞く （シャッフル再生）.....	25

## サウンドの設定

快適な音で聞く （MBP）.....	26
重低音を強調する （D-BASS）.....	27
音のバランスや音質を設定する （バランス）（バス）（トレブル） （フェダー）（ATT）.....	28

## その他の操作

音や表示などの設定を換える .....	29
---------------------	----

使用上のご注意 .....	31
故障かな? .....	32
保証書とアフターサービス .....	36
主な仕様 .....	37
索引 .....	39



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する  
本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の  
「取り付けと接続」の説明に従って、正し  
く取り付けてください。正しい取り付けを  
しないと、火災や感電の原因となります。



### 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となり  
ます。万一、水や異物が入ったときは、す  
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ  
ニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



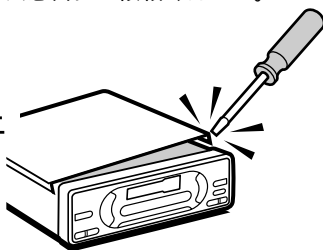
### 分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソ  
ニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

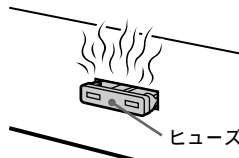


### 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ  
に記された規定容量のアンペア数のものを  
お使いください。規定容量を越えるヒュー  
ズを使うと、火災の原因となります。



禁止

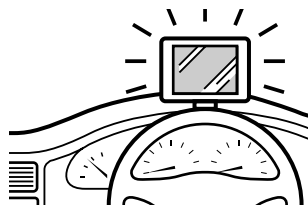


### 前方の視界を妨げる場所に、ディス プレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの  
原因となります。また、取り付け場所  
が、助手席用エアバッグシステムの動作の  
妨げにならないことを確認してください。



禁止





下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

カセットテープ挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



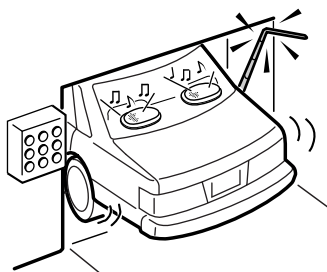
ACCポジションのないお車のときは  
OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示  
を消してください。OFFボタンを短く押  
しただけでは時計表示が消えず、バッテ  
リーあがりの原因となります。

アンテナの高さより低い場所(駐車  
場や洗車機など)へ入るときはラジ  
オを止める

ラジオの動作中はパワーアンテナが自動的  
に上がります。低い場所へ入るときは、必  
ずラジオ以外のソースに切り換えるか、  
OFFボタンを押してアンテナが下がった  
ことを確認してください。



禁止



# カセットテープの取り扱い

カセットデッキのヘッドのお手入れについて

カセットテープを長い間使用すると、ヘッドが汚れて、音質がよい、音が出ないというようなことがおこります。50時間を目安に、別売りのソニークリーニングカセットC-1KDまたは市販の乾式クリーニングカセットを使ってヘッドをクリーニングしてください。また、クリーニングカセットを使用しても症状が良くならない場合はお買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

良い音で聞くために

カップホルダーにジュースなどを置くときは、飛び散りにご注意ください。本機やカセットのテープ面に糖分が付着すると、カセットデッキのヘッドが汚れ、音質が劣化したり、音が出なくなることがあります。ヘッドに付着した糖分は、クリーニングカセットでクリーニングすることができません。



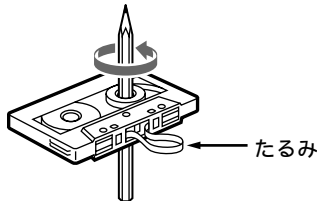
禁止



カセットについて

- テープ面に指を触れないでください。テープ面が汚れたカセットを使うと、音質の劣化の原因となります。
- 古いカセットや粗悪なカセットを使わないでください。音質の劣化や故障の原因となることがあります。
- 次の場所には絶対に置かないでください。
  - 直射日光が当たるところなど高温の場所（特に夏季）
  - 湿度の高いところ

- テープにたるみがあると、テープが機械に巻き込まれることがあります。必ず、鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



- 90分を超えるテープのご使用はおすすめできません。90分を超えるテープは、非常に薄くのびやすいので、車の振動や高温によってテープが機械に巻き込まれる場合があります。



禁止



- 変形したカセットテープやラベルのはがれかかったテープを使用すると故障の原因になります。ラベルがはがれかかっているときは、新しいラベルに貼り直してください。



禁止



- 本機はパワーアンプ内蔵のため、長時間使用するとカセットが熱くなりますが、カセットの機能には影響ありません。

---

# はじめに

- 本機はカセットテープとラジオに対応。

以下の記載した別売りの機器も本機のボタンで操作できます。

- CDチェンジャー（ソニー製MP3対応CDチェンジャー接続時のみ、MP3ファイル再生コントロール対応）。
- MDチェンジャー。

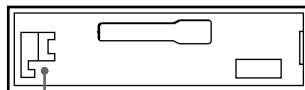
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

# まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、リセットボタンを押す必要があります。

リセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。

ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。



リセットボタン

## ご注意

リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えます。その場合は、登録し直してください。

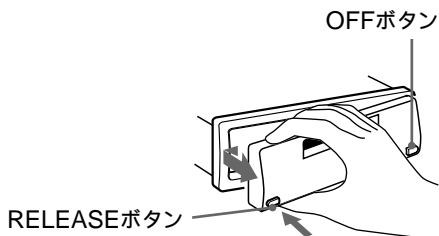


## フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。

### 取り外しかた

必ず、OFFボタンを押して電源を切ってから、RELEASEボタンを押してフロントパネルの左側から取り外します。図のようにフロントパネルを手で支えながら左に少しスライドさせ、手前に引いて外します。

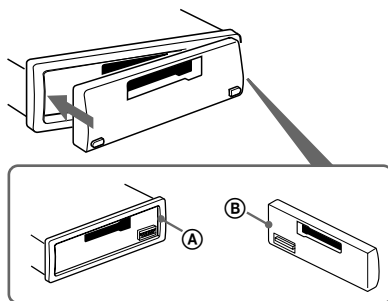


### ⚠ 注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力をあたえないでください。
- フロントパネルを取り外して保管するときは、必ずケース(付属)に入れてください。

### 取り付けかた

フロントパネルの⑧部分と本体の⑨部分を合わせます。フロントパネルの左側も合わせてカチッとはまるまで押します。



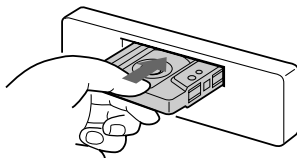
# テープ・ラジオの聞きかた

## テープを聞く

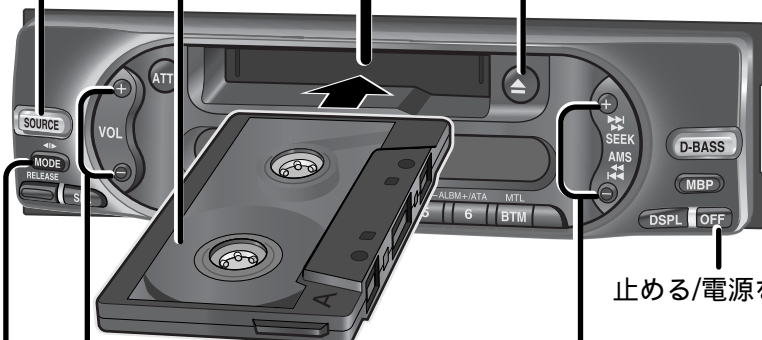
テープが入っているときに  
「TAPE」を表示させると  
再生が始まる

テープを入れると  
自動的に再生が始まる

## テープを入れる




テープを取り出す



音量を調節する

テープの再生面を  
切り換える

テープが入っていると  
 が点灯します。

## テープの巻き戻し・早送りをする

再生中に押し続ける。



途中で再生を始めるには、  
MODEボタンを押す。

## テープの曲の頭出し

再生中に押して、離す。



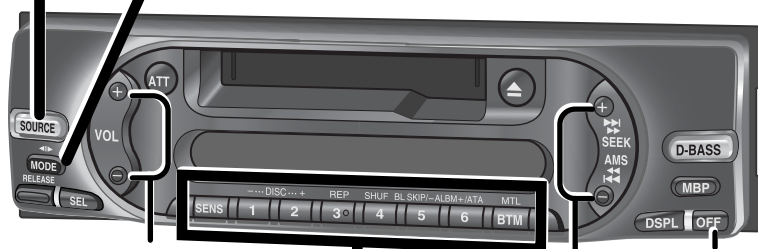
進みたい、または戻りたい  
曲の数だけ押す。

## ラジオを聞く

### 1 ラジオ受信にする

### 2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとに  
FM1 → FM2 → AM1 → AM2  
と切り換わります。



音量を調節する

電源を切る

### 3 聞きたい放送局を選ぶ

数字ボタンに登録してあるときに選ぶことができます。

くわしくは16、18ページをご覧ください。

自動選局で受信する(自動選局)  
聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押す。



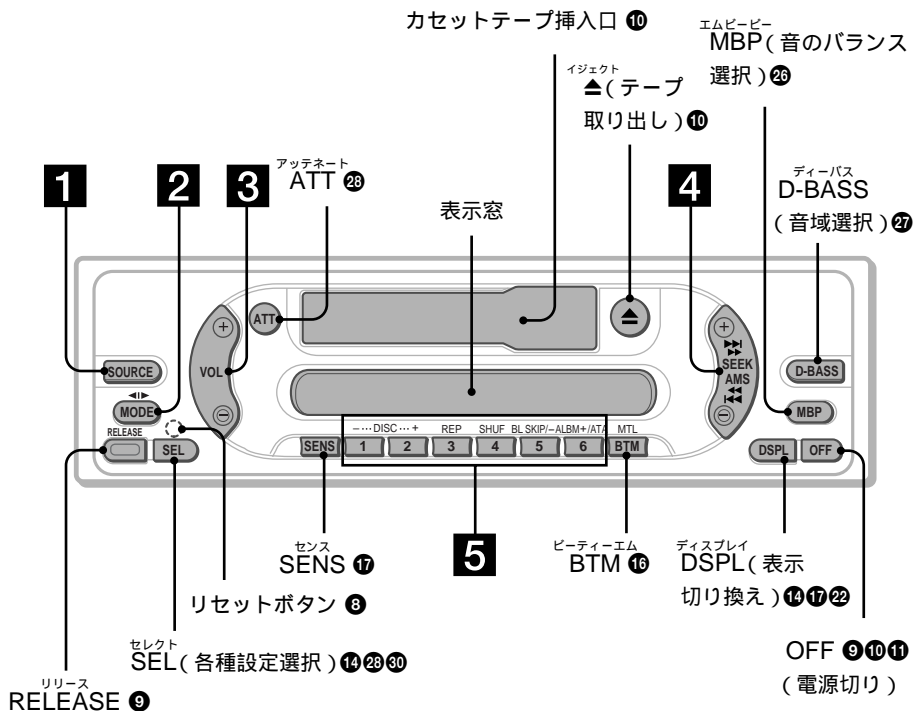
希望の放送局を受信する  
(手動選局)

聞きたい放送局の周波数がわかっているときは、その放送局の周波数になるまで押し続ける。



# 各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



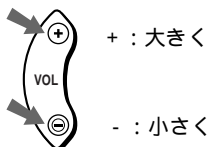
ACCポジションのないお車のときは、OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

**1** <sup>ソース</sup> SOURCE (ラジオ/TAPE/CD\*<sup>1</sup>/MD\*<sup>1</sup>  
(MS\*<sup>2</sup>) 切り換え) **10 11 16 18 19 21**

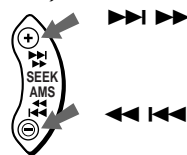
## 2 モード MODE

ラジオ	FM1/FM2/AM1/AM2の 切り換え <b>11 16 18</b>
テープ TAPE	再生面切り換え <b>10</b>
CD*1	CD機器の選択 <b>19 21</b>
MD*1	MD機器の選択 <b>19</b>

### 3 ボリューム VOL (音量調節) ボタン



#### 4 シーク/エーエムエス SEEK/AMS( 頭出し / ラジオ選局 / 設定項目選択 )



ラジオ	周波数の高い 放送局へ (押し続ける) <b>11 17 18</b>	周波数の低い 放送局へ (押し続ける) <b>11 17 18</b>
TAPE	次の曲へ 早送り(押し 続ける) <b>10</b>	前の曲へ 巻き戻し(押し 続ける) <b>10</b>
CD/MD	次の曲へ 早送り(押し 続ける) <b>20</b>	前の曲へ 早戻し(押し 続ける) <b>20</b>

## 5 数字(1~6)ボタン

ラジオ

放送局の登録 / 選択

**16 18**

---

リピート

TAPE

3: REPボタン **15**  
 フラックススリップ

5: BL SKIPボタン **15**  
 ユーティリー・エー

6: ATAボタン **15**

---

CD\*1/  
 MD\*1

1: DISC - ボタン **20**  
 ディस्क

2: DISC + ボタン **20**  
 リピート

3: REPボタン **24**  
 シャッフル

4: SHUFボタン **25**  
 アルバム

5: ALBM - \*3ボタン **20**  
 アルバム

6: ALBM + \*3ボタン **20**

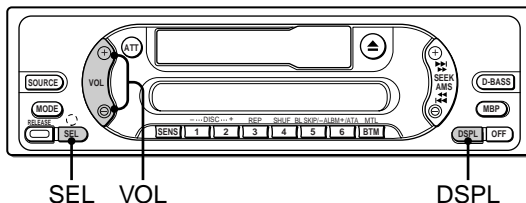
\*1 別売りのCD/MD機器(ソニー製)が接続されているとき

\*2 MS : MG-MSシステムアッププレーヤMGS-X1  
本機はMGS-X1をMDとして認識します。

\*<sup>3</sup>別売りのMP3対応CDチェンジャー(ソニー製)  
が接続され、MP3ファイル再生中のとき

# 時計を合わせる

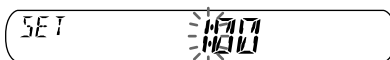
本機は12時間表示です。



## ご注意

ACCボジションのないお車のときは、SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して本機の電源を入れてから、時計を設定してください。

## 1 DSPLボタンを2秒間押す。

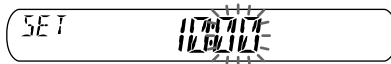


「時」が点滅する。

- ① VOLボタンの+または-を押して「時」を合わせる。

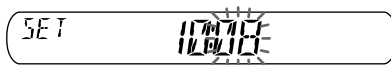


- ② SELボタンを押す。



「分」が点滅する。

- ③ VOLボタンの+または-を押して「分」を合わせる。

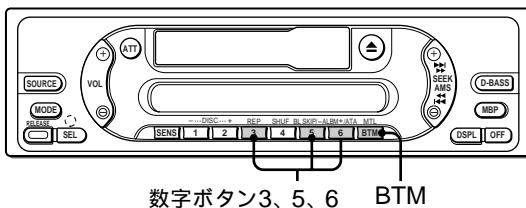


## 2 DSPLボタンを押す。



設定時刻が登録され、通常の画面に戻ります。

# テープを聞く



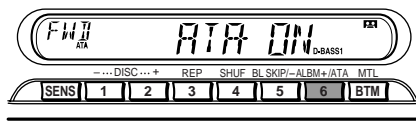
数字ボタン3、5、6 BTM

## いろいろな聞きかた

- ・「REP」 → 曲を繰り返し再生する。
- ・「BL SKIP」 → 8秒以上の空白を早送りする。
- ・「ATA」 → 早巻き中はラジオに切り換わる。
- ・「MTL」 → メタルテープまたはCrO<sub>2</sub>テープを再生する。

いろいろな聞きかた	押す
「REP」	数字ボタン3
「BL SKIP」	数字ボタン5
「ATA」	数字ボタン6
「MTL」	BTMボタン

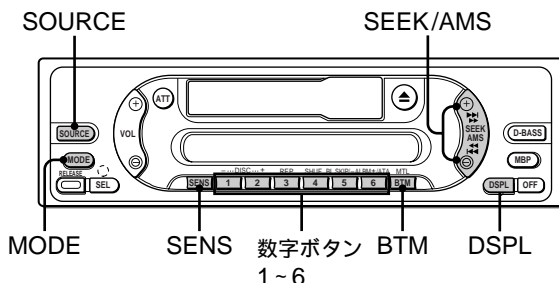
再生中にお好みのボタンを繰り返し押して「ON」を表示させる。



ふつうの再生に戻すには  
「OFF」を選びます。

# 放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局を自動的に登録することができます。「FM1」  
「FM2」  
「AM1」  
「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



## ちょっと一言

手順2でMODEボタンを押すごとに

FM1 → FM2 → AM1 →  
AM2 → FM1  
と切り換わります。

## ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

**1** SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。

**2** MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

**3** BTMボタンを2秒以上押す。

「BTM」(ベストチューニングメモリー)が点灯表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終了と通常の表示に戻ります。

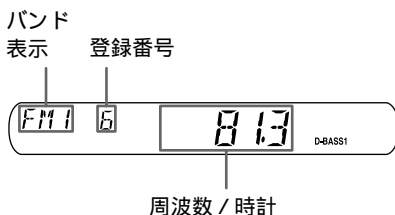
## 登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に数字ボタン1~6を押して聞きたい放送局を選ぶ。



## 表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押す。



ちょっと一言

- SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて聞きたい放送局の周波数に近付いたところで、一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。

## 旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

ラジオ受信中にSEEK/AMSボタンの+または-を押して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンの+または-を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。

ラジオ受信中に、SENSボタンを繰り返し押して「LOCAL-ON」を選ぶ。

ふつうの受信に戻すには

「LOCAL-OFF」を選びます。

## ステレオ放送が聞きにくいときは

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

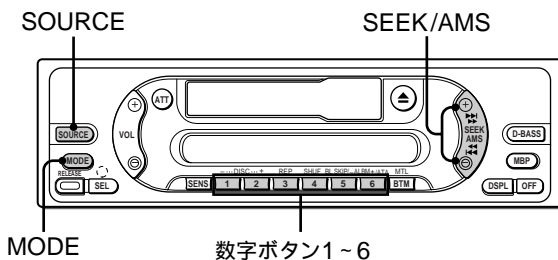
FM受信中に、SENSボタンを繰り返し押して「MONO-ON」を選ぶ。

ふつうの受信に戻すには

「MONO-OFF」を選びます。

# 放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。



## ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

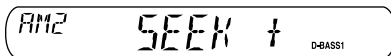
## ちょっと一言

- 手順2でMODEボタンを押すごとに  
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1  
と切り換わります。
- SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて聞きたい放送局の周波数に近付いたところで、一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。
- 「FM1」、「FM2」、「AM1」および「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ設定できます。

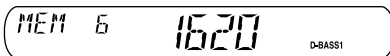
**1** SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。

**2** MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

- 3** **A** 聞きたい放送局の周波数がわかっているとき  
その放送局の周波数になるまで、SEEK/AMSボタンの+または-を押し続ける。
- B** 聞きたい放送局の周波数がわからないとき  
SEEK/AMSボタンの+または-を押して離す。  
自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。  
聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。



**4** 登録したい数字ボタン1～6を「MEM」が表示されるまで2秒以上押し続ける。



押した数字ボタン番号が表示され、そのボタンに選んだ放送局が登録されます。

## 登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に数字ボタン1～6を押して聞きたい放送局を選ぶ。

# CD/MDを聞く

別売りのソニー製MP3対応CD機器またはMD機器を接続して、CD、MP3ファイル、MDを再生できます。

CD TEXT対応のCD機器にてCD TEXTディスクを再生中に、その文字情報(アルバム名、アーティスト名、曲名など)を表示することができます。

## CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

\*1 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されていて、チェンジャー内のディスクを再生中の場合のみ表示します。

\*2 MP3再生時のみ表示します。ID3タグ表示中はアルバム番号が出ません。

\*3 別売りのソニー製CD/MD機器が接続されている場合のみ表示します。

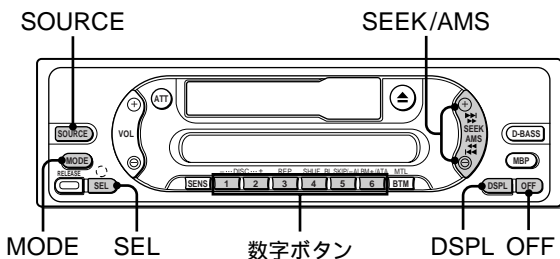
\*4 CD-TEXT、MP3、MD再生時のみ表示します。

## ご注意

MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMDチェンジャーなどで再生することはできません。

## ちょっと一言

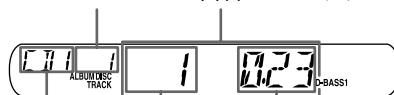
ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。別売りのCD/MD機器を接続している場合は、同じソースのCD/MD機器内の次のディスクを再生します。



## 聞きたい機器を選ぶ

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押しして、「MD」または「CD」を選ぶ。

ディスク番号\*1 / アルバム番号\*2      ディスク名 / アルバム名\*2 / 曲名\*4 / ID3タグ\*2



CD/MD      トラック番号      演奏時間  
ユニット番号\*3

- 2 再生中にMODEボタンを繰り返し押しして、聞きたいCD/MD機器を選ぶ。

### CDの場合\*3

CD1 (CD機器1) → CD2 (CD機器2) → CD3 (CD機器3)

### MDの場合\*3

MD1 (MD機器1) → MD2 (MD機器2) → MD3 (MD機器3)

## 再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

次のページへつづく

## CD/MDを聞く(つづき)

### MP3再生時のご注意

- 本機で直接MP3ファイルの再生はできません。別売りのソニー製MP3対応CDチェンジャーをご使用ください。
- MP3対応CDチェンジャーはMP3再生時、初めにディスク内の情報(アルバム、トラック数など)を読み取るため、ファイル構造が複雑な場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。読み取り中は本機の表示窓に「READ」と表示されますので、完全に表示が消え、自動で再生が始まるまでお待ちください。

### CD/MDチェンジャー内の聞きたいディスクを選ぶには

CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中に数字ボタン1(DISC-)または数字ボタン2(DISC+)を短く押す。

押すたびに、前のディスクまたは次ぎのディスクに1枚ずつ切り換わります。

### MP3対応CDチェンジャー内の聞きたいアルバムを選ぶには

聞きたいアルバムの入ったディスクを再生中に数字ボタン5(ALBM-)または数字ボタン6(ALBM+)を短く押す。

押すたびに、次のアルバムまたは前のアルバムに1つつ切り換わります。

### 聞きたい曲を選ぶには

再生中にSEEK/AMSボタンの+または-を短く押す。

押すたびに、次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

### 曲の聞きたいところにするには

再生中にSEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて、聞きたいところで離す。

### ディスクの先頭または終わりに来ると

「LLLL LLLL」または「TTTT TTTT」が表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

- 本機はMGS-X1を「MD」として認識します。

## MG-MSシステムアッププレーヤー MGS-X1 (別売り) を再生するには

SOURCEボタンを押して「MS」または「MD」を選ぶ。

「MS」の場合

MGS-X1の再生が始まります。

「MD」の場合

MODEボタンを繰り返し押して「MS」を選びます。

例) MGS-X1を入力端子2に接続した場合

MD1 (MD機器1) → MS (MGS-X1) →

MD3 (MD機器2) → ... → MD1 →

C  
D  
・  
M  
D

## CD/MDを聞く(つづき)

ちょっと一言

- 本機ではCD TEXTやMP3ファイル、MDに記録されているディスク/アーティスト名/アルバム名、曲名、ID3タグなどはアルファベットと数字、記号のみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみ入力されたディスクを再生した場合は、正しく表示されません。
- 本機で表示できない文字や記号は「\*」に置き換わります。
- CD TEXTまたはMP3ファイルに記録されていても、曲ごとのアーティスト名は表示されません。
- 「オートスクロールの設定」(23ページ)で「A. SCROLL」にしておくと、ディスクや曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。
- MP3ファイルのID3タグは「曲名/アーティスト名/アルバム名」の順に表示します。

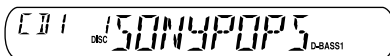
ご注意

- CDチェンジャー内のCDの曲名を表示することができるのはMP3対応機器でMP3ファイル再生時、またはCD TEXT対応機種でCD TEXTディスク再生時のみです。
- CD TEXTまたはID3タグで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。

### 表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。

CD TEXT(点線枠内: MP3)ディスク再生の場合



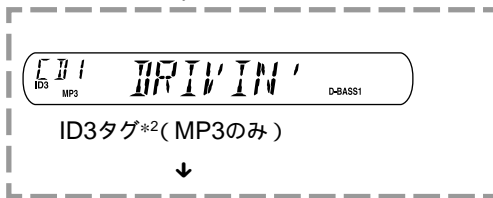
ディスク名/アーティスト名\*1



アルバム名\*1(MP3のみ)



曲名\*2(CD TEXT/MP3、MDのみ)



ID3タグ\*2(MP3のみ)



曲番号と再生経過時間

\*1 ディスク名、アルバム名、曲名がっていないときは「NO NAME」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。

\*2 MP3ファイルにID3タグがっていないときは「NO ID3」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。

## ご注意

- ディスク名、アルバム名 (MP3のみ)、曲名、ID3タグ名 (MP3のみ) のオートスクロールができるのは、DSPLボタンを押して、それぞれの名前を表示しているときだけです。
- アルバム名、曲名切り換えをしているときは、設定を「ON」にしてもオートスクロールしません。

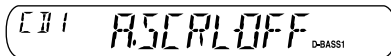
## オートスクロールの設定

別売りのソニー製MP3対応CD機器またはMD機器を接続し、チェンジャー内のディスクを再生中の場合のみスクロールします。

CD TEXT対応CD、MP3またはMDを再生中の場合、ディスクまたは曲が切り換わったとき、SOURCEでCDまたはMDを選んだときに、この設定を「ON」にしておくことで9文字以上のディスク名、アルバム名、曲名およびID3タグを自動的にスクロール表示させることができます。

CDまたはMDの再生中にSELボタンと数字ボタン3を同時に押し「A.SCRL-ON」を選ぶ。

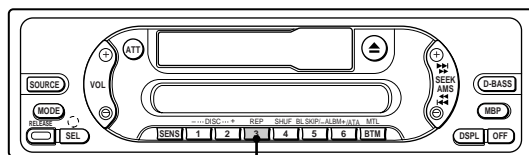
オートスクロールを解除するには「A.SCRL-OFF」を選びます。



# 繰り返し聞く

(リピート再生)

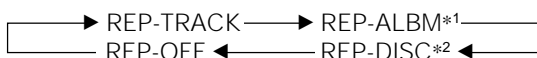
再生中の曲のみ、アルバム内の全曲  
またはディスク内の全曲を繰り返し  
聞くことができます。



数字ボタン3 (REP)

CDまたはMDを再生中、数字ボタン3 (REP) を繰り返し押し、再生モードを選ぶ。

REPボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 1曲のみ繰り返す ..... 「REP-TRACK」にする。
- 再生しているアルバムを繰り返す  
..... 「REP-ALBM」\*1にする。
- 再生しているディスクを繰り返す  
..... 「REP-DISC」\*2にする。

\*1 ソニー製MP3対応CDチェンジャー接続時のみ表示されます。

\*2 ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

リピート再生をやめるには

数字ボタン3 (REP) を繰り返し押し、「REP-OFF」を選びます。



# 曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のアルバム内の全曲、ディスク内の全曲またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。



数字ボタン4 (SHUF)

## ご注意

「SHUF-ALL」でCDとMDを混ぜてシャッフル再生することはできません。

## ちょっと一言

「SHUF-CHGR」「SHUF-ALL」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

CDまたはMDの再生中、数字ボタン4 (SHUF) を繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

SHUFボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生しているアルバム内の全曲を順不同に再生するには ..... 「SHUF-ALBM」\*1にする。
- 再生しているディスクの全曲を順不同に再生するには ..... 「SHUF-DISC」にする。
- 再生しているチェンジャー内の全ディスクを順不同に再生するには ..... 「SHUF-CHGR」\*2にする。
- 再生しているソース (CDまたはMD) のすべての機器の全ディスクを順不同に再生するには ..... 「SHUF-ALL」\*2にする。

\*1 ソニー製MP3対応CDチェンジャー接続時のみ表示されます。

\*2 ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

シャッフル再生をやめるには

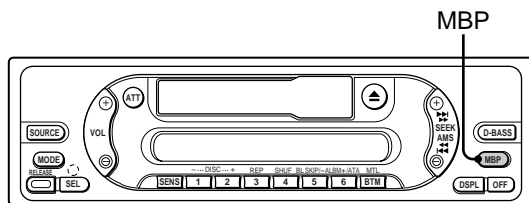
数字ボタン4 (SHUF) を押して「SHUF-OFF」選びます。

# 快適な音で聞く

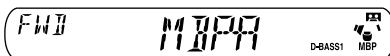
(MBP)

MBP(マイベストサウンドポジション)機能を使うと、1人でドライブするときなどに、運転席で快適な音空間を楽しむことができます。

MBPには2種類の設定があり、左右スピーカーのバランスと前後スピーカーのバランスが異なります。この設定はMBPボタンで簡単に選ぶことができます。



MBPボタンを繰り返し押して、快適な設定を選ぶ。



約1秒後に、通常の画面が表示されます。

MBPボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 前座席左に快適な音空間 .....「MBP-A」にする。
- 前座席右に快適な音空間 .....「MBP-B」にする。

## ご注意

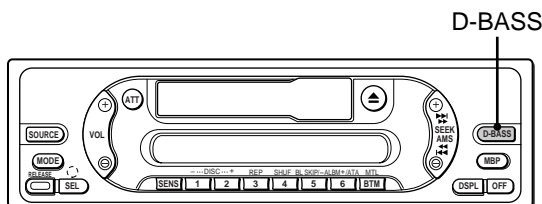
- 「音のバランスや音質を設定する」(28ページ)で調節すると、MBPはOFFになります。
- MBPをOFFにすると、BALやFADで設定したバランスになります。

## MBPを解除するには

MBPボタンを押して「MBP-OFF」を選びます。

# 重低音を強調 する (D-BASS)

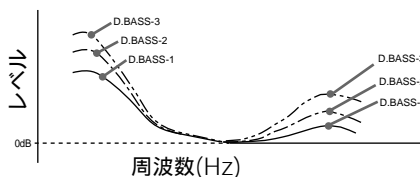
D-BASS(ダイナミックベース)機能は低音域と高音域をシャープに増幅するため、同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。



## ご注意

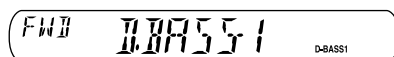
音量によっては音が歪むことがあります。このときはD-BASSや音量、音質を聞きやすいように調整してください。

## D-BASS曲線

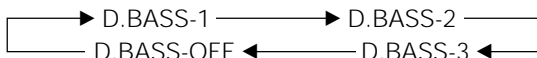


数字が大きいほど低音と高音が強調されます。

D-BASSボタンを繰り返し押して、好みの設定に切り換える。



D-BASSボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。

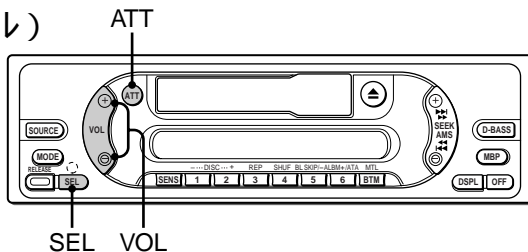


## D-BASSを解除するには

D-BASSボタンを押して「D.BASS-OFF」選びます。

# 音のバランスや音質を設定する

(バランス)(バス)(トレブル)  
(フェダ - )(ATT)



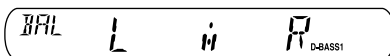
ちょっと一言

- SELボタンを押すごとに  
BAS → TRE → BAL →  
FAD → 通常画面 → BAS  
と切り換わります。
- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

## 出力バランス / 音質を調節する

- 1 SELボタンを繰り返し押して、「BAS(バス)」、「TRE(トレブル)」、「BAL(バランス)」または、「FAD(フェダ -)」を選ぶ。

BAL(バランス)の設定表示



- 2 VOLボタンの+または-を押して設定を調節する。  
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

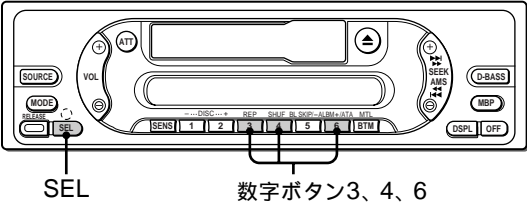
## 音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

「ATT-ON」と一瞬表示された後、「ATT」が点灯し、自動的に音量を下げます。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。  
「ATT-OFF」と一瞬表示され、もとの音量に戻ります。

# 音や表示などの 設定を換える



設定の種類	設定内容
「Clock」	時計の設定（14ページ）。
「BEEP」	操作ボタンを押したときの「ビッ」という音をON/OFFする。
「M.DSPL」	モーションディスプレイの設定をする。 「ON」 → 電源OFF時にデモディスプレイを表示する。 「OFF」 → 電源OFF時にデモディスプレイを表示しない。
「A.SCRL」*	CD TEXT対応のディスクまたはMD再生時、表示を自動的にスクロールさせる（23ページ）。
「LOCAL」	ローカル受信の設定（17ページ）。
「MONO」	モノラル放送の設定（17ページ）。

\* 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されていて、チェンジャー内のディスクを再生中の場合のみスクロールします。

その他の操作

次のページへつづく

## 音や表示などの設定を換える(つづき)

### BEEPを設定するには

---

SELボタンと数字ボタン6を同時に押し、  
「BEEP-ON」を選ぶ。

---

### M.DSPLを設定するには

---

SELボタンと数字ボタン4を同時に押し、  
「M.DSPL-ON」を選ぶ。

---

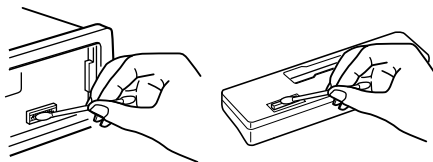
### 設定をやめるには

SELボタンと数字ボタンを同時に押し「OFF」を選ぶ。

# 使用上のご注意

## 本機の取り扱い

コネクターのお手入れについて  
フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

## 液晶表示について

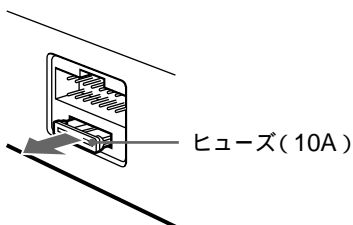
極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

## 本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

## ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



## 表示窓の結露について

寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくもることがあります。

このような場合は、しばらく放置しておくことで結露が取り除かれ正常に戻ります。

# 故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。  
テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 音量を上げてください。</li><li>• ATT機能を解除してください。</li><li>• スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 → 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。</li></ul>
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"><li>• リセットボタンを押した。</li><li>• バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。</li><li>• 電源コードが正しく接続されていない。</li></ul>
ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → BEEPの設定(30ページ)を「ON」にしてください。</li><li>• 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを接続した場合は「ピッ」という音は出ません。</li></ul>
なにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを2秒以上押し続けて、時計表示を出してください。</li><li>• フロントパネルおよび本体のコネクターが汚れている。 → コネクター部をクリーニングする。(31ページ)</li></ul>
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電源コードが正しく接続されていない。</li><li>• イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → SOURCEボタンを押すかカセットテープを挿入して電源を入れてください。</li></ul>



	原因・処置
共通	ノイズが出る。 アンテナコード、バスケーブル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。
	電源がOFFにならない。 イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → OFFボタンを2秒以上押し続けてください。
	オートアンテナが上らない。 リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
	ボタンを押しても動作しない。 リセットボタンを押してください。
カセットプレーヤー	カセットが入らない カセットを正しい向きにして入れてください。
	テープ再生中にアンテナが上がる 「ATA」と表示されている場合は、ATA機能が働き、テープ早送り、巻き戻し中に自動的にラジオを受信するためアンテナが上がります。
	雑音が多い 雑音が多いテープ、あるいは録音レベルの低いテープを再生している。故障ではありません。
	音がこもる ヘッドが汚れている。→ 別売りのソニークリーニングカセット（C-1KD）または市販の乾式クリーニングカセットを使ってクリーニングしてください。
	頭出しができない <ul style="list-style-type: none"> <li>• 曲間のあきが短すぎる。→ 録音テープを作るとき、曲間を4秒以上あけてください。</li> <li>• 曲間に雑音が多く、曲間を検出できない。</li> </ul>
	曲の途中で再生が始まる <ul style="list-style-type: none"> <li>• 曲の途中に無音部分や低音のみの部分が1秒以上あり、曲間として検出された。</li> <li>• 再生している面と反対の面に大きな音が録音されている。</li> <li>• 無音部分の一部に雑音が多い。</li> </ul>

## 故障かな?( つづき )

	症状	原因・処置
CD/MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• すでに別のディスクが入っている。</li> <li>• ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → ラベル(レーベル)面を上にして入れてください。</li> </ul>
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。</li> <li>• ディスクが傷ついている。</li> <li>• 本機の取り付け角度が20°を越えている。</li> <li>• 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。</li> <li>• MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。</li> </ul>
ラジオ	受信できない、 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。(リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合のみ。)くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。</li> <li>• カーアンテナとの接続を確認してください。</li> <li>• オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。</li> <li>• 周波数を確認してください。</li> </ul>
	SEEK/AMSボタンを押しても 聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「LOCAL-ON」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 → 「LOCAL-OFF」にしてください(17ページ)。</li> <li>• 電波が弱くて自動選局できない。 → SEEK/AMSボタンを押し続けて周波数を合わせてください。</li> </ul>
サウンド設定	ステレオ放送が聞きにくい。 「ST」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 周波数を確認してください。</li> <li>• 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください(17ページ)。</li> </ul>
	音がでない、または 音が小さい。	<p>バランス・フェーダーの調節で特定のスピーカーの音量が小さくなった。 → 「音のバランスや音質を設定する(28ページ)」で調節してください。</p>

## CD/MDのエラー表示

CD機器やMD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
BLANK	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
ERROR	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
HI TEMP	周囲の温度が50°C以上になった。	50°C以下に下がってから再生する。
NO DISC	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO MAG	CD機器にディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CD機器に入れる。
NO MUSIC	MP3対応CD機器に音楽ファイル以外のデータが記録されたディスクが入っている。	音楽データの記録されたディスクを入れる。
NOTREADY	MDチェンジャーのフタが開いている。あるいはディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れ直し、フタを閉める。
RESET	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

### 保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

### 保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

### 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

# 主な仕様

## カセットプレーヤー部

トラック方式	4トラック2チャンネル (ステレオ)
周波数特性	30 ~ 18,000Hz/±3
ワウフラッター	0.08% (WRMS) 以下
再生SN比 (JIS A)	

TYPE I	58dB
TYPE II、 III、IV	61dB

## チューナー部

### FM

受信周波数	76 ~ 90MHz (テレビ1 ~ 3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	11dBf
周波数特性	30 ~ 15,000Hz
実効選択度	75dB (400kHz)
SN比	65dB (ステレオ) 68dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	0.7% (ステレオ) 0.5% (モノラル)

### AM

受信周波数	522 ~ 1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30 $\mu$ V

## アンプ部

適合インピーダンス	4 ~ 8
最大出力	50W $\times$ 4 (4 負荷1kHz)

## 電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
----	---------------------------

トーンコントロール	低音 : $\pm$ 9dB (100 Hz) 高音 : $\pm$ 9dB (10 kHz)
-----------	--

出力端子	アンプコントロール、 アンテナコントロール リア音声出力端子
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子

本体寸法	約178 $\times$ 50 $\times$ 178mm (幅 / 高さ / 奥行き)
取付寸法	約178 $\times$ 50 $\times$ 161mm (幅 / 高さ / 奥行き)

質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品 (一式) 取扱説明書 (一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1)

[次のページへつづく](#)

## 主な仕様(つづき)

別売品	CDチェンジャー(10枚)
	CDX-757MXなど
	MDチェンジャー(6枚)
	MDX-66XLPなど
	MG-MSシステムアップ
	プレーヤー
	MGS-X1
	パワーアンプ
	XM-405EQXなど
	ソースセクター
	XA-C30
	バスケーブル(RCAピンコード
	付属)
	RC-61(1m)
	RC-62(2m)
	バス延長コード
	RC-U305(0.5m)
	RCAピンコード
	RC-64(2m)
	RC-65(5m)
	電源コード RC-39

### ご注意

本機には別売りのデジタルブリアンプやイコライザーは接続できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 索引

## 五十音順

ア行	
エラー表示	35
オートスクロール	23
音量	10~13

## サ行

スクロール	22
シャッフル	25
ステレオ放送	17
スピーカーバランス	26

## タ行

登録	
自動登録	16
ラジオ局	16、18
時計	14、29

## ナ行

名前	
表示する	17

## ハ行

バランス	28
ヒューズ	31
表示窓	
CD/MD	19、22
ラジオ	17
フロントパネル	9
ベストチューニングメモリー (BTM)	16

## マ行

モノラル	17
------	----

## ラ、ワ行

ラジオ	11、16~18
自動選局	16
登録	16、18
リセット	8
リピート	24

## アルファベット順

A.SCRL	23
ATT	28
BAL (Balance)	28
BAS	28
BEEP	29
BTM	16
CD/MD	19~25
CD TEXT	22、23
Clock	29
D-BASS	27
FAD (Fader)	28
LOCAL	17
MBP	26
M.DSPL	29
MONO	17
REP	24
SHUF	25
TRE	28

## ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月～金 9:00～18:00

（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客でご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax…………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

<http://www.sony.co.jp/>

Sony Corporation Printed in Thailand